

R8 魚津市のコミュニティ・スクール④

よつば小学校

5/19(火)に第1回学校運営協議会が開催され、昨年度に引き続き、会長に亀澤委員(村木地域振興会会長)、副会長に大野委員(大町コミュニティセンター長)が選出されました。



第1回学校運営協議会

校長の長崎委員から、グランドデザインを基に学校運営方針の説明がありました。昨年の方針に加えて、目指す学校づくりを支えるための「学校における働き方改革」を位置付け、より充実した教育の実現に資すると説明がありました。また、学校運営のベースが「学校・家庭・地域がつながる温かいコミュニティ・スクール」であるとの認識を確認し、学校運営方針は委員全員の拳手により承認されました。

「地域学校協働活動コーディネーター(推進員)」から、進捗状況の説明がありました。

- ・学習をサポートする**人材を募集**して、「**つながり隊**」として登録する取組を進めている。
- ・申込みから登録、依頼までできるアプリを作成する案もあるが、まずはフォームで**登録する方法**を考えている。

○委員からは保険加入や支援内容について質問や助言がありました。

募集チラシ案

子どもたちの学びをお手伝い

つながり隊

大募集

よつば小学校では、子どもたちの学びを支えてくださる「つながり隊」を募集しています。先生と一緒に子供たちの活動を見守りながらやさしくサポートしませんか。「空いた時間で少しでも子どもたちの学びを手伝ってみたい!」そんな気持ちがあれば大歓迎です!!

総合学習サポート

- ①リソコン操作やタブレット学習時の補助
- ②校外学習における児童の付き添い、見守り
- ③種々練習補助や地域へのチラシ配り

体育などスポーツのサポート

- ④プール学習時の見守りや低学年児童の着替えお手伝い

家庭科、生活科サポート

- ⑤裁縫や調理の授業見守りやお手伝い
- ⑥植物や野菜など栽培活動のお手伝い

魚津市立よつば小学校グランドデザイン 令和8年4月

【学校の教育目標】
自ら学び 心豊かにたくましく生きる子どもの育成
 — これからの社会を生き抜く力を育む —

【目指す学校像】
 ○安心、安全な学校 ○楽しく、生き生きと学べる学校 ○家庭・地域と一体となって子どもを育てる学校

【かしく】	【やさしく】	【たくましく】
○よく働き、よく見て、よく考える子 ○正しく判断し、行動する子 ○目覚めてもち、自ら学ぶ子	○さわやかに挨拶する子 ○相手の気持ちを考え行動する子 ○互いのよさや違いを認め、助け合う子	○心と体の健康に気を付ける子 ○ねばり強く努力する子 ○安全に気を付けて自他の命を大切にする子

学習意欲の向上と個の学びの保障	自他のよさを認め、共に高め合う学校・学年・学校づくり	生命の尊厳の自覚と心身の健康づくり
○ひと、もの、ことと豊かに関わりながら主体的に学ぶ児童の育成 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり ・見方、考え方を広げる学び合いの工夫 ・教科横断的な学習や生活とのつながりを意識した授業デザイン ・次の学びにつながる振り返りと評価の工夫 ・学習者用端末の効果的な活用 ・日本の学習や家庭学習を軸とした主体的に学習に取り組む態度の育成	○学び合いを支える温かい学習風土の醸成 ・ルールとリレーションの確立 ・教師と児童、児童間との信頼関係の構築(日々の認め合いを通じて) ・気持ちのよい挨拶と返事の励行 ・学習中での温かい人間関係づくり(学びの多様な確立や話し合い活動の重視、学習カールの明確化等) ・人の適切な関わり方を学ぶ機会の設定(ふれあいタイムでのSSTの導入) ・異学年で交流する場の設定	○心身の健康を意識した生活習慣の定着 ・「とよまぎんキッズ作戦(健康づくりノート)」の結果を踏まえた健康教育の推進 ・自分の生活環境を自分で整える習慣づくり(身支度・整頓・清掃活動等) ・家庭と連携した生活習慣づくり ・児童の発明に寄り添った教育権威体制の充実(カウンセリング指導員、SC、SSW、関係機関との連携)

「子供たちの笑顔のために」学校・家庭・地域がつながる温かいコミュニティ・スクール よつば小学校

【目指す学校づくりを支えるための「学校の働き方改革」について一より充実した教育の実現のために】

- ◆教員一人一人が自身の勤務実態を改善しようとする意識の向上
- ◆地域や家庭の協力を得ながら、必要に応じた業務の精選や見直し
- ◆支援員や外部人材等を活用した業務の分担や体制の整備
- ◆ICT活用を通じた校務の効率化

協議では、**地域・学校**のつながりや学校運営について活発に意見交換がなされました。

・子供たちは、**家庭・地域・学校**で守られるべきである。子供たちが地域に対してできること、参加できることを増やしていきたい。

・村木地区では、地区の行事を子供たちに手伝ってもらう取組をしている。**地域参加の経験**となっている。

・中学生の子供たちの成長した姿を見ると、この学校運営方針は効果があると思う。粘り強く取り組んでほしい。

・縦割り班会食にぜひ取り組んでほしい。一緒に楽しく食べることで残食も減るのではないかな。

・学校の働き方改革をぜひ進めてほしい。PTAでも広報を作成する際、学校や先生方に写真や作文を要求しないことを大切にしている。

学校・家庭・地域合同特別講演会についてお知らせがありました。【6/25(木) 松山康成先生】

この研修会は、**教員、保護者、地域の方が同じ目線で子供の成長に関われるよう**にとの願いから、コミュニティ・スクール発足時より、開催されているものです。